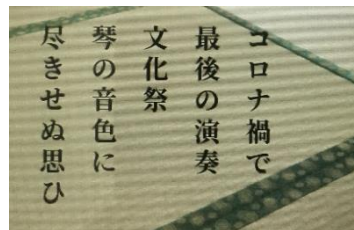
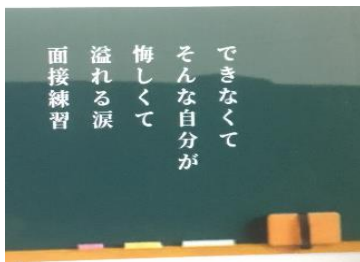


1人1台端末の活用による実践事例

学校名	岡山県立林野高等学校		
実践者等	飯田真恵	実践日	令和3年9月17日
実践場面 (教科・科目、学校行事等)	国語・作家の時間Ⅱ（学校設定科目）		
対象生徒（学年等）	普通科3年次生		
単元名 (教科・科目の場合のみ)	作家の時間Ⅱ（短歌作成・クラス発表・相互評価）		
使用したアプリ等	Google Classroom、スライド、Forms、スプレッドシート		
実践の概要（ねらい等）	短歌を添削指導しながら完成させ、スライド発表を行う。詠歌の意図も踏まえて、相互評価を行い鑑賞する。		

実践の内容

- (1) 作歌制作後に鑑賞会を行うこと、提出方法・締切などについてChromebook(端末)で連絡する。Classroomに課題をスライド形式(※コピーを作成)でアップする。



生徒作成のスライド

生徒発表の様子

- (2) スライドを提出させ、基準に達するまで添削指導を行う。
 (3) 歌完成後、スライド修正に取り掛からせる。その際、歌に添った背景を作成させる。(※背景も評価に入れることを伝える。)
 (4) 鑑賞会では、並行してFormsに入力させ、授業後スプレッドシートに反映し、相互評価の共有を行う。

※創作では恥ずかしさが立つ生徒も少なくないが、端末での添削では、本人が企図する以外は他生徒の目に触れることはなく、質問も含めて安心して完成するまでの指導を受けることができる。また、スライド発表では、個々の生徒が思い思いに個性を発揮し、それを互いに評価共有することで、新たな発見や、お互いへの共感も引き出され、親和性の高いクラス作りにも効果を上げている。

参考となるHP等